

LipoTEST Case Report

2008年11月

Case 1 : 高脂血症を伴う胆嚢疾患歴のある犬

【Profile】

- ・動物種: 犬
- ・品種: ミニチュア・シュナウザー
- ・性別: 雌(不妊手術済)
- ・年齢: 11歳11ヶ月
- ・体重: 6.3kg
- ・B.C.S=3(標準体重)

■病歴:

過去に胆嚢炎の診断を受け治療歴があり、来院時の超音波検査で高輝度の肝臓実質と胆泥の存在がみとめられた。

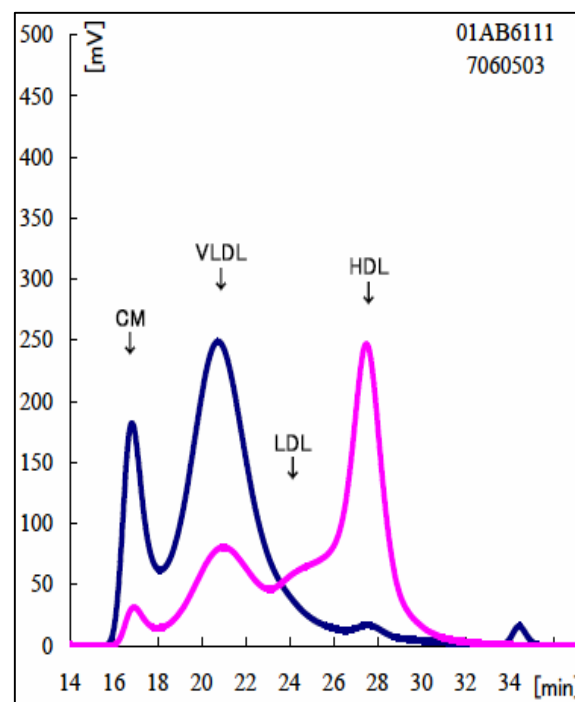
【検査】

■院内血液検査

ALP > 500U/l
T-Cho = 380mg/dl , TG > 500 mg/dl

■LipoTEST検査所見(1回目)

分類: パターン3・複合型
T-Cho、VLDL-Choが異常高値、
全ての分画のTG値において異常高値を示した。

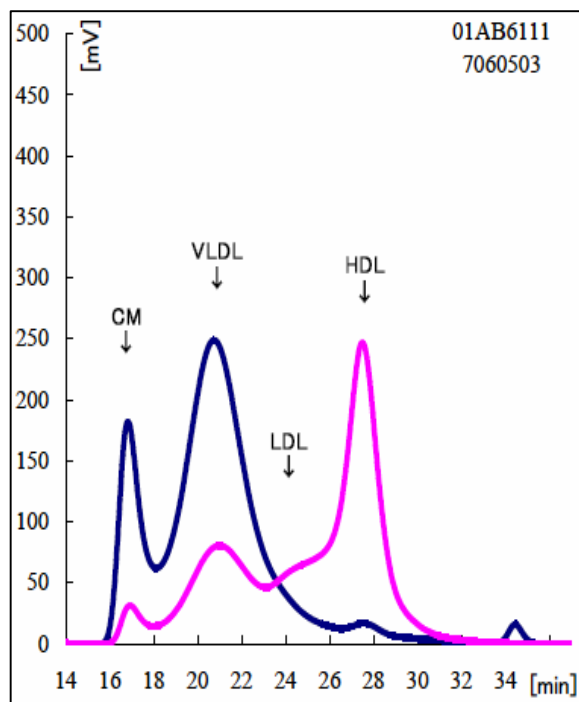


【治療計画】

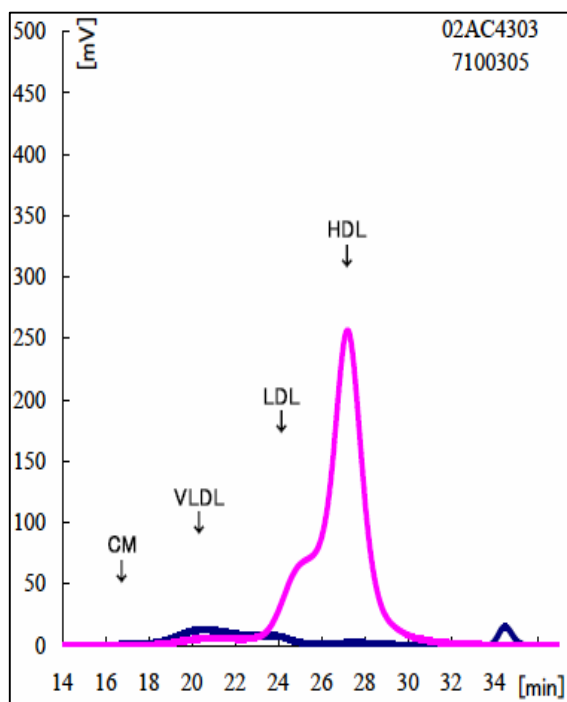
- ・ 市販シニアタイプの低脂肪食への変更に加え、胆泥の排泄を促すためのトレピブトン (スパカール : 1mg/kg 12時間毎) の投与とVLDLの合成を阻害する脂質代謝改善剤であるクリノフィブラート (リポクリン : 10mg/kg、12時間毎) の経口投与併用を選択。
- ・ 経過観察後、4ヵ月目に再検査を行った。

【LipoTEST 波形データの変化】

～1回目結果～



～2回目結果～



【解析結果に基づく治療への評価】

- ・ TGの高値が、脂質代謝改善を目的とした薬剤の投与によって改善
- ・ 超音波検査での胆泥貯留所見が改善され、ALPが減少(>500→234U/l)
- ・ 症例の一般状態も良好
- ・ 薬の投与間隔を調整し、継続的な維持に移行する方針

症例提供: ベルヴェット動物病院 鈴木隆之先生 (東京都世田谷区)

◆LipoTESTに関するお問合せ先 スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社

* 検体送付キットの請求は、下記記入のうえ、FAX (03-5731-3631)にてご返送下さい。

病院名		氏名	
住所		TEL	

詳しい情報に関しては、LipoTEST Webをご覧ください。URL: <http://www.lipotest.jp/>